

第90回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2001年5月以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では引き続き多量の火山ガスの噴出を伴う噴煙活動が継続しています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

有珠山ではマグマ活動が終息しましたが、熱的活動は継続しています。

樽前山では地震活動が一時活発化し、火口の温度も高い状態が続いています。

岩手山では地震活動、地殻変動等に大きな変化はないものの、噴気活動は活発な状態が続いています。

吾妻山では低周波地震が発生するなど地震活動がやや活発になっています。

磐梯山では、山頂直下を震源とする地震、および浅い低周波地震が引き続き発生しています。

これらの火山では、今後も火山活動に注意が必要です。

1. 北海道地方

1) 雌阿寒岳

- ・ボンマチネシリ96-1火口は引き続き高温です。噴煙量は少ない状態が続いています。
- ・火山性地震の一時的な増加が時々見られました。

2) 十勝岳

- ・62-2火口は引き続き高温で、活発な噴煙活動を続けています。
- ・地震活動は低調な状態で経過しました。

3) 樽前山

- ・A火口の温度は、高温の状態が続いています。
- ・ドーム南西火口では活発な噴煙活動が続いています。
- ・火山性地震の一時的な増加が時々見られました。

4) 有珠山

- ・金比羅山火口群のK-B火口では、少量の火山灰や噴石を含む小規模な噴出を伴う活動が続いていましたが、噴出活動に伴う火山性微動の振幅、空振は次第に小さくなり、9月中旬以降、火山性微動や空振は観測されていません。8月下旬頃から、次第に火口内が湯だまりの状態になりました。
- ・西山西麓火口域では弱い白色噴煙と周辺での地熱活動が継続しています。
- ・地震活動は2000年噴火の前と同様の状態で推移しています。
- ・西山西麓を中心として続いていた地殻変動は、ほぼ停止もしくはわずかな沈降を続けています。
- ・このように、火山活動は、5月に比べてさらに低下してきています。

- ・なお、金比羅山火口群のK-B火口や西山西麓火口群における地熱活動は当分継続すると考えられ、今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

5) 北海道駒ヶ岳

- ・表面現象、地震活動、地殻変動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。
- ・1996年の54年ぶりの噴火のあと、2000年11月の小規模な水蒸気爆発まで、5回の小規模な噴火が発生していることから、今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

2. 東北地方

1) 岩手山

- ・黒倉山山頂の噴気の高さは、6月以降は最高で150mに達するなど、西岩手の姥倉山から黒倉山の噴気活動は、活発な状態が続いています。
- ・西岩手の大地獄谷から黒倉山・姥倉山にかけてで発生する地震の回数が、やや減少する傾向が見られます。東岩手では、依然として地震活動が続いています。
- ・これらのことから、西岩手では小規模な水蒸気爆発が発生する可能性が依然として残されています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

2) 吾妻山

- ・振幅の小さい火山性地震、山体直下の浅いところが震源とみられる低周波地震が、引き続き発生しています。
- ・低周波地震も引き続き発生するなど地震活動がやや活発になっています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3) 安達太良山

- ・9月2,5日に沼ノ平火口から高さ200mの噴気が上がっていることが観測されました。また、沼ノ平火口中央部で新たに形成された噴気孔が、9月に確認されました。
- ・沼ノ平火口南部で地下の温度が上昇したためと見られる地磁気の変化が観測されました。

4) 磐梯山

- ・山体直下の浅いところを震源とする低周波地震は、引き続き時折発生しています。
- ・8月23日に振幅の大きな火山性微動が観測されるなど、火山性微動が時々発生しました。
- ・地殻変動には、特に変化は認められません。
- ・低周波地震や火山性微動が時々発生するなど活動が依然として活発であることから、現時点では、小規模な水蒸気爆発の可能性は残っています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3. 関東・中部地方

1) 那須岳

- ・地震活動、表面現象とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

2) 日光白根山

- ・6月5～7日に頃にかけて、山頂付近の深さ約10kmを震源とする地震が一時多発し、最大でM3.1の地震が発生しましたが、この地震活動は6月後半にはほぼ収まりました。この地震活動域は、3月から4月にかけて一時的に活発になった地震活動の震源域から南東に離れたところに位置します。

3) 草津白根山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

4) 浅間山

- ・2000年11月下旬以降増加した噴煙量は、増減を繰り返しながらも、次第に減少しています。

5) 御獄山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態で経過しています。

6) 富士山

- ・9月上旬に低周波地震の回数が一時やや増加しました。震源は4月までと同様、山頂北東側の深さ15km付近で、特に変化はありません。

7) 箱根山

- ・6月12日からカルデラ内を震源とする規模の小さい地震が多発しました。7月を境に、地震の数は徐々に減少しています。
- ・7月上旬頃から山体のゆるやかな膨張を示す地殻変動が観測されました。この変動は、9月以降は次第に鈍化しました。

8) 伊豆東部火山群

- ・地震活動に特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

9) 伊豆大島

- ・地震活動、表面現象とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。
- ・山体膨張の地殻変動が続いていましたが、今年に入り停滞し始めています。

10) 新島・神津島

- ・地震活動は新島・神津島付近から三宅島付近にかけて、低調ながらも続いています。
- ・地殻変動は、まだ完全な停止にはいたっていません。

11) 三宅島

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。

12) 硫黄島

- ・9月21日から22日にかけて、硫黄島南東海岸付近で、海底噴火があり、熱水の噴出が認められました。
- ・10月19日から、硫黄島北西海岸で、小規模で間欠的な噴火が始まりました。

4. 九州地方

1) 九重山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。
- ・山体の収縮は継続しています。

2) 阿蘇山

- ・2000年11月29日に中岳第一火口の南側火口壁の一部で観測された赤熱現象は、現在も継続しています。

3) 雲仙岳

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

4) 霧島山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

5) 桜島

- ・南岳では、8月に噴火活動が活発になりました。
- ・南岳の爆発回数は、5月7回、6月4回、7月7回、8月44回、9月4回、10月は21日までに2回でした。

6) 薩摩硫黄島

- ・島内で降灰が時折観測されました。特に、8月13日の空振を伴った噴火では島内に多量の降灰がありました。
- ・体に感じない微小な火山性地震が多い状態が続き、日に約70～130回発生しています。
- ・2000年12月5日から観測されている間欠的な火山性微動が、引き続き発生しています。

7) 口永良部島

- ・地震活動には大きな変化はありません。
- ・全磁力観測から、5月頃から地下の温度上昇を示す変化が観測されています。

8) 諏訪之瀬島

- ・5月10～13日、7月1～2, 19, 26～27, 30日、10月11～14日にそれぞれ噴火がありました。5月12日、7月26日、10月11～14日に爆発地震がそれぞれ観測されました。

5. 海底火山

福徳岡ノ場

- ・6月13日に、半径約500mの青色の変色水域が観測されました。